

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	大学誘致連携推進室	事業No.	29
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H17	終了	
根拠	主要区分	主	記号 計画等名称		
	戦略計画		4	豊かな「学びの土壤」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む	
			2	飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる	
	分野別計画				
法令・例規等					
事業目的	対象	飯田市が情報や知見などを得るために必要とする大学、大学の知見等を必要としている地域等			
	意図	人的ネットワークを活用した教育・研究活動等の展開を通じて、当地域の学術研究機能の発信や地域振興、人材育成を進め、飯田の価値を高めます			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		1 大学等の「知のネットワーク」の構築を推進するとともに、それらの持つ専門的知見や技術を地域に還元し、地域づくりや人づくりに活かすための取組を進めました。 ・全国の大学生が飯田の地域づくり等を学ぶ機会の創出 ・学輪IIDAのネットワークに参加している研究者と地元研究者との協働によるモデル的な研究や取組の推進 ・地域と大学が連携して地域づくりを行う取組(域学連携) ・大学持つ知見を地元高校生の学びに活かす取組(高大連携) ・地域振興、地域づくりにつながる専門的知見の蓄積と発信 ・大学と地域が連携した取組を進めるための活動拠点の運営 2 信州大学新学部を当地域へ誘致する取組を開始しました。	学輪IIDA活動費	フィールド活動費	域学連携事業費	高大連携事業費	1,143	297	1,894	288
		その他の経費					0			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	学輪IIDAに参加している大学研究者数	人	135	140						
	大学との連携事業、プロジェクト数	件	12	12						
	飯田で学習・調査研究をした学生等の数	人	400	664						
3年度決算(千円)	予算額		6,887							
	決算額		3,622							
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	362							
		地方債	0							
		その他	61							
一般財源		3,199								
		特定財源内訳及び補足事項								
		(県) 市町村合併特例交付金								
		(そ) 諸収入								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	5	6,887	3,622	大学とのネットワーク構築事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		・コロナ禍で制約のある中でも、大学の知を活かした学びの創出に取り組みました。大学生と地元高校生と一緒に学ぶフィールドスタディを、双方向性を確保しオンラインで行いました。大学と地元の研究者が研究発表を行う「飯田学輪大学」を行い、内外の知のネットワーク作りに取り組みました。より一層大学の知見と地域を接続する取組が求められます。 ・信州大学誘致に向け官民一体で協議会を設立しました。本活動について市民への浸透をより図っていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・大学の持つ学際性や専門性を活かした学びの機会をつくることで、市民に知見を広く還元し、活動の成果をわかりやすい形で伝えとともに、大学と地域や学校、関係機関等が連携して行う新たな取組の創出を促進します。 ・信州大学誘致に向けた協議会との連携を密に、地域の機運醸成に取り組みとともに、信州大学との関係構築を進めます。							
次年度に向けての取り組み		・コロナ禍で蓄積したオンラインでの学びのノウハウや新たに開館したムトスぶらざの創発機能等を活用し、大学と地域の接続を進めます。また、高校の探究的な学びの全面展開をふまえ、大学の知を高校生の学びに活かす取組をより進めます。 ・信州大学新学部の誘致については、信州大学内における検討状況を注視しつつ、地域の支援体制の強化に取り組みます。							